

ハイパーソニックが拓いた未来を祝う会へのおさそい

発起人

- 甘利俊一 (独)理化学研究所脳科学総合研究センター特別顧問・前センター長
- 有本建男 (独)科学技術振興機構社会技術研究開発センター長
- 伊藤 滋 東京大学名誉教授
- 稲盛和夫 (財)稲盛財団理事長、京セラ(株)名誉会長
- アンブール・エルコマイシビリ ユネスコ国際グルジア民族合唱センター所長、国立アンサンブル "ルスタビ" 団長
- 大竹美喜 (財)国際科学振興財団会長 (発起人代表)
- 川人光男 (株)国際電気通信基礎技術研究所脳情報研究所長
- 柴崎 浩 国際臨床神経生理学連合理事長、京都大学名誉教授
- 辻井 喬 詩人、日本藝術院会員
- 東倉洋一 国立情報学研究所副所長
- 常盤文克 日本モノづくり学会会長、元・花王(株)社長・会長
- 所 真理雄 (株)ソニーコンピュータサイエンス研究所社長
- 長尾 真 国立国会図書館長、京都大学元総長
- 林 正和 NPO 法人ものづくり生命文明機構理事長、東京証券取引所自主規制法人理事長
- イ・マデ・バンダム 米国ホリークロス大学教授、インドネシア国立総合芸術大学前総長
- 福原義春 (株)資生堂名誉会長
- 増田寛也 総務大臣
- 武藤徹一郎 NPO 法人健康医療開発機構理事長、(財)癌研有明病院メディカル・ディレクター
- 村上陽一郎 東京大学名誉教授
- 安田喜憲 国際日本文化研究センター教授
- 山口昭男 (株)岩波書店代表取締役社長
- 米倉義晴 (独)放射線医学総合研究所理事長、福井大学名誉教授

(五十音順)

## おさそい

いつも私たちの目の鱗を払い別次元の世界を垣間見させてくださる奇跡の科学者・芸術家、大橋 力先生を巡って朗報があります。先生を筆頭著者とした〈ハイパーソニック・エフェクト〉の発見を告げる論文が、世界の脳科学者たちの関心と評価を測る絶好の指標といわれる“JNP インターネットでもっとも数多く読まれた論文トップ 5”に52ヶ月間ランクされ続け、うち第1位が24ヶ月に及ぶ、という前人未踏の大記録を樹立しました。めまぐるしく進展する世界の脳科学の中でこれに肩を並べる成績は過去に存在せず、将来とも稀有の例となるであろうことは疑いありません。ひとり大橋プロジェクトのみならず、日本の脳科学の国際的地位を高め、万丈の気を吐いた快挙といえましょう。

ハイパーソニック・エフェクトとは、知覚の限界をこえる超高密度高複雑性の音響が人類の基幹脳ネットワークを活性化し、『美と感動』を「こころ」に、『快適と健康』を「からだ」にもたらす、という驚くべき現象です。この発見が過去の学説や通念を覆す卓越した基礎研究であることは、言うまでもありません。同時にそれは、現代文明の病理を克服し心身の健やかさを回復する、という人類史的な社会貢献を約束するものです。さらに、それを実現する巨大な産業領域の起爆剤となる、壮大な応用研究でもあります。まさに、予期せぬ明るい未来が拓かれたといえましょう。しかも、この研究の発想、方法から支援技術までのすべてが生粋の日本原産で、西欧科学技術文明の限界をアジアから打ち破ったサクセス・モデルとしても注目されるどころです。

折しも、大橋先生が提唱された〈生命文明〉をキーコンセプトのひとつとして結成されたNPO法人〈ものづくり生命文明機構〉では、先生の学術・芸術・技術を超えた叡智に学ぶ〈大橋道場〉を開講しようという機運が高まってきました。

そこで、この好機を捉えて、ハイパーソニック・エフェクト論文空前の成功の喜びを分かち合いつつ生命文明の拓く未来の地球像とともに構想する集いを、右記の通り催すことといたしました。「道場」と「宴」とが融け合い、知る人ぞ知る大橋先生の〈暗黙知〉の世界と、魅惑の〈ハイパーソニック・サウンド〉とを直接堪能できるまたとない機会です。おさそい合わせの上、奮ってお運びくださいますようご案内申し上げます。

平成二十年五月吉日

ハイパーソニックが拓いた未来を祝う会発起人一同

## ハイパーソニックが拓いた未来を祝う会

日 時： 平成20年6月21日(土)  
午後2時30分 受付  
午後3時 第一部 大橋道場開き記念講演  
午後5時 第二部 祝宴

会 場： グランドアーク半蔵門(東京都千代田区隼町1番1号 03-3288-0111)  
第一部 富士西の間 第二部 華の間

### プログラム：

#### 第一部 大橋道場開き記念講演

開講のことば 中井徳太郎(大橋道場塾頭)

記念講演 大橋 力

「文明行動としてのハイパーソニック・エフェクト研究」

大橋道場の構想 前田泰宏(道場幹事)

#### 第二部 祝 宴

開宴宣言 岸本吉生

発起人代表挨拶 大竹美喜

乾杯

ハイパーソニック・ライブ体験“バリ島のガムラン音楽”

ご祝辞、ご歓談

ハイパーソニック・ライブ体験“グルジアとブルガリアの民族合唱”

ご祝辞、ご歓談

エピローグ みんなで楽しむ“バリ島のケチャ”

協力出演：芸能山城組

主 催： ハイパーソニックが拓いた未来を祝う会

共 催： NPOものづくり生命文明機構、NPO健康医療開発機構、文明科学研究所

会 費： 15,000円

振込先： 三菱東京UFJ銀行 中野駅前支店 普通 2083673 祝う会事務局

事務局： 中井徳太郎(人事院給与第二課長)

岸本吉生(中小企業庁経営支援課長)

前田泰宏(経済産業省文化情報関連産業課長)

森 勇介(大阪大学教授)

安島孝知((株)CDIメディカル代表取締役)

河合徳枝((財)国際科学振興財団主任研究員)

仁科エミ(メディア教育開発センター准教授)

本田 学(国立精神・神経センター部長)

連絡先： ハイパーソニックが拓いた未来を祝う会事務局

〒187-8502 東京都小平市小川東町4-1-1

国立精神・神経センター 神経研究所 疾病研究第七部内

電話 042-346-1718 FAX 042-346-1748 Eメール iwaukai@dcfd-ncnp.net